

上田仮説サークルニュース		4月例会	2017.04号
編集責任	遠藤 裕		発行2017.5.27
〒383-0041	中野市岩船426-3	サカガーデン中野 B-G	TEL 0269-23-2847 携帯 090-1406-9115
	メール	endo-h@cronos.ocn.ne.jp	勤務先 長野工業高校 TEL 026-227-8555

4月22日(土) 上田中央公民館 2F第1会議室
午後 3:00 ~ 9:30



参加者数7名
資料総ページ 167 ペ

<参加者> 柳沢克央さん, 増田伸夫さん, 渡辺規夫さん, 坂口富雄さん,
高見沢一男さん, 池田みち子さん, 遠藤裕

はじめに 4月例会の参加者は7名。

柳沢さんが例会の始まる前に、サークルのために「チョークアート」で黒板にすばらしい歓迎の絵を描いてくれてありがとうございました(右下の写真)。描くのに2時間はかかったようです。本当にありがとうございました。

レポートは、柳沢さんから18本、増田さんから2本、坂口さんから1本、渡辺さんから4本の合計25本の発表。総ページ数は167ページで、試料数が非常に多く、前回と同様に内容の濃い発表でした。

柳沢さんは、読書メモからはじまり新聞記事の紹介、化学に関するレポート等非常にたくさんの発表をしてくれました。「チョークアート」では2社の新聞記事の紹介がありました。

坂口さんは「ランキングで知る長野県」のレポート。問題になっており、みんなワイワイ予想を行いました。問題作成ありがとうございました。

増田さんの<今月の本紹介17>は40ページ。今回は「イスラム教」についての本の紹介です。イスラム教の基礎知識を学ぶには最適な本のようにです。(小杉泰著『イスラムとは何か その宗教・社会・文化』)それと、<信州イスラム世界勉強会>の講義メモの報告。

渡辺さんは、「マジックバルーン」の実験を用意してくれみんなで体験しました。その紹介レポート、勝木渥先生の追悼文、専門学校の授業報告、アルキメデスの原理についてのレポートを発表。

終了後、「大戸屋」で夕食会。(このところ大戸屋が定番。)



柳沢さん制作 チョークアート

1. 発表資料

① サークルニュース 4月例会 遠藤 裕 (9ペ)

1. 発表資料

- ① サークルニュース 2月例会 遠藤 裕 (14ペ)
- ② 読書メモ2017年3月号 柳沢克央さん (24ペ)
 - － 小室直樹著『日本人のためのイスラム原論』(集英社インターナショナル)のみ
- ③ トイレ掃除は運気を上げるか 柳沢克央さん (2ペ)
 - － 『ホステス心得帖』(北新地社交料飲協会)の紹介
- ④ 電光石花の チョークアート 柳沢克央さん (6ペ)
- ⑤ 紹介： 牧衷略伝－その生きた時代 柳沢克央さん (11ペ)
 - 仮説実験授業 50年史稿 (第2部) 8 (重弘忠晴 仮説実験授業 50年史編纂室長)
 -)より紹介。
- ⑥ <今月の本紹介16> 増田伸夫さん(56ペ)
 - 要約：<イエスの復活信仰>がキリスト教の出発点
- ⑦ 『キリスト教入門』(キリスト教の成立と発展)年図 増田伸夫さん (1ペ)
- ⑧ 浅間のほとり千曲のふもと 北村秀夫さん (4ペ)

② 読書メモ2017年4月号 柳沢克央さん (52ペ)

－ 関良基著『赤松小三郎ともう一つの明治維新』(作品社)ほか －

柳沢さんが読んだ本の紹介。

◇はじめに

先月号の「読書メモ」と同様、サークルで発表することを目的とすると、読書がはかどるので、今回もこのメモを作成しました。自身のため、記録を残すことが第一目的です。みなさま、よろしく(適当に)おつきあい下さい。今までのものと同様に説明あり、引用あり、要約あり、感想ありで諸々が混交しておりますのでご注意を。(私物)と書き添えてあるもの以外はすべて篠ノ井高校図書室蔵書。

今月はとにかく「読書予定リスト」の「在庫一掃」を心がけ、「消化吸收」をどんどん進めます。

◇読書記録または読書メモ(順不同)

- ◎立川談春著『談春古往今来』(新潮社・平成26年・2014年)
- ◎立川談志著『談志の遺言』(宝島社・2016年)
- ◎古山浩一著『万年筆の達人』(樫出版社・2006年)(私物)(3200円+税)
- ◎小山鹿梨子漫画, フランクリン・コウ・イー・ジ・ヤパン監修『まんがでわかる7つの習慣』(宝島社・2013年)

- ◎児玉光雄著『勉強の技術ーすべての努力を成果に変える科学的学習の極意ー』(SB クリエイティブ・2015年)
- ◎福地孝宏著『中学教師新任3年目までの仕事の教科書』(学陽書房・2015年)
- ◎土井聖和監修『超入門・はじめて犬と暮らす選び方&育て方BOOK』(世界文化社・2015年)
- ◎関良基著『赤松小三郎ともう一つの明治維新』(作品社・2016年)(私物)
- ◎森炎著『裁判所ってどんなところ?』(ちくまプリマー新書・2016年)
- ◎齋藤孝著『新聞カーできる人はこう読んでいるー』(ちくまプリマー新書・2016年)
- ◎国谷裕子著『キャスターという仕事』(岩波新書・2017年)
- ◎立川志の輔著『落語家』(実業之日本社・1997年)
- ◎二宮敦人著『最後の秘境・東京藝大ー天才たちのカオスな日常ー』(新潮社・2016年)
- ◎門田由貴子著『選ばれる人になる34の習慣』(ダイヤモンド社・2011年)
- ◎鈴木博毅著『図解・今すぐ使える!孫子の兵法』(プレジデント社・2015年)
- ◎門田由貴子著『選ばれる人になる34の習慣』(ダイヤモンド社・2011年)
- ◎前田康裕著『まんがで知る教師の学び』(さくら社・2016年)

◇次回以降の予告

◇まとめ・つぶやき

...

[2017年4月18日(火)脱稿] 予定より遅れたが、理想にかなり近い形で脱稿できた。これから4月例会で発表する別のレポート(教材開発)に取りかかる。締切に余裕があると、遅れてもさほど慌てずに悠々と研究などが進められることがわかった。

最後までおつきあいいただきありがとうございました。次回分の執筆に今日中に取りかかる予定。(終)。

(柳沢さんは、この読書メモをかなり計画的に執筆しているようです。次回以降の予告リストは14冊。それにしても一ヶ月の間にこれだけの本を読み、52ページにわたるレポートを書く集中力はすごいです。 エト*リ)

③ モル関連用語に「一貫性」を与えよ 柳沢克央さん (1ペ)

教科書用語への異議と代替案。

現行の高校「化学基礎」において教科書用語に異議があるので、代案等も含めて次に記す。関係者の注意を喚起したい。

生徒の気持ちになって考えると次のような代替案が考えられるとのこと。

私(柳沢)の代替案

「モル質量」を廃止して、「質量毎モル」,「モル体積」を廃止して、「体積毎モル」とする。

「子ども中心主義」というのは、ただのスローガンなのか。まず、こういうことから一つひとつ実現していくことが大切なのではないのだろうか。

(確かにモル関係の学習では、混乱しそうな用語が多いです。なるべく直感的にわかりやすい用語に統一してもらいたいものです。 エトワリ)

④ TOKIO 宙船(そらふね) 柳沢克央さん (2 ペ)

TOKIO の「宙船(そらふね)」と忌野清志郎の「争いの河」の歌詞の紹介。

テスト返却の後の授業で配り、生徒さんに感想を書いてもらったとのこと。感想を聞くというのは良い手法のようです。

⑤ 紹介：信毎の記事<怪しいTV欄> 柳沢克央さん (1 ペ)

4月5日(水)の信濃毎日新聞の記事「大きな権力に見合う発言」の紹介。

週1回ペースで掲載されるコラム。最近は「ヒット」か「ツーベース」の作品が多かったが、今回は「場外ホームラン」のできだと思ふ。信濃毎日新聞はこうでなくては…ネ。(柳沢さん)

町山広美氏(放送作家)の短評。安倍首相の国会答弁やトランプ大統領のツイッターでのつぶやきに対する発言。カーター元大統領の演説を紹介し、そして「大きな権力を持つ人には、それに見合う広い視野と深い見識に基づく発言が当然の義務だと思ふ。」と結んでいます。

(権力を担っている人物には、人格者でいてもらいたいです。 エトワリ)

⑥ 紹介：信毎の記事 柳沢克央さん (4 ペ)

信濃毎日新聞の記事の紹介。

2017年4月16日(日) 明日のデザイン 生物学者 福岡伸一さん 「生命の営みに学ぶ」自ら壊しつくり直す社会

2017年3月18日(土)

天皇陛下の退位巡る国会見解 課題や背景 識者の見方

片山杜秀(慶応大教授) 天皇自らによる「静かな革命」

川西秀哉(神戸女学院大准教授) 国民から切り離された「総意」

建設標 オスプレイの姿 空襲を思い出す (長野市 山岸勝男さん 農業・82)

2017年4月1日(土) 思索のノート 曙光ーしょうこうー

白井 聡(政治学者、思想史家) 星条旗振る愛国者

⑦ 紹介：日本の「重力値」40年ぶり更新 柳沢克央さん (1 ペ)

朝日中高生新聞の記事(2017/4/9)の紹介。

国土地理院(茨城県つくば市)が先月、日本の重力基準となる「重力値」を40年ぶりに更新。変化が最も大きかったのは新潟県佐渡市。体重60キログラムの高校生なら約0.006グラム軽くなった。

(記事で「重力値」といっているのは「重力加速度」のこのことです。健康機器メーカーのタニタは、かつて北海道用、本州用、沖縄用と3種類の体重計を発売していたそうです。2005年からは、地域を設定できる機能をつけたデジタル体重計も出しているとのこと。いろいろなところで「重力値」というのは利用されているようです。 エトウ)

⑧ 紹介：ヴェーバー『プロ倫』を超コンパクトに要約する 柳沢克央さん (3 ペ)

インターネットからの紹介。

ヴェーバーの『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』の解説。

⑨ 紹介：ホブズ『リヴァイアサン』を超コンパクトに要約する 柳沢克央さん (4 ペ)

インターネットからの紹介。

ホブズの『リバイアサン』の解説。

⑩ 紹介：ホブズ『リヴァイアサン』を解説する 柳沢克央さん (11 ペ)

インターネットからの紹介。

ホブズの『リバイアサン』の詳細解説。

⑪ 理科送別会にて 柳沢克央さん (1 ペ)

理科の送別会に際しての詠歌の紹介。

- 去年今年 もの香かぎて思案せり
何を贈らむ 花ぞ佳しからむ
- 春の日に ソフトボールをする娘らに
鈴木イズムの躍動見たり

他

(柳沢さんの心のこもった歌です。 エトウ)

⑫ 「似合う万年筆」価格の法則 柳沢克央さん (2 ペ)

テーマ「筆記具のある楽しい生活」によるエッセイ。

2017年1月『趣味の文具箱』(柘出版)に投稿して没になったものだそうです。

20年間ペリカンスーベレーンM800（緑縞）を愛用している柳沢さん。同窓会に招待され、余興の賞品に万年筆を買うことに。教え子たちは25～26歳、決めたのはプラチナの#3776センチュリー、色はシャトルブルー。賞品の価格が世間相場に見合っているかどうかどうの裏付けのようなものが欲しいといろいろ試みた結果が次式。

(年齢の3乗) ÷ 2 = (似合う万年筆の価格)

なぜ2で割るかは説明不能だが、目安としてはなかなかのものではなかろうか。

(贈り物買うとき、価格で悩みます。年齢を考慮して何か法則性があれば目安になり安心できそうです。 エトワ)

⑬ 4月21日(金)今朝の信毎感想 柳沢克央さん (1ペ)

信濃毎日新聞に送った感想の紹介。

共謀罪法案について、1面コラム「斜面」、3面社説トップ、4面信毎セミナーの短信で取り上げている。「こうした記事の立体的な配置による相乗効果は、ネットで配信される記事の組み合わせではあり得ません。今日のような充実した紙面を今後も構成されますよう、坂城の地より毎朝、楽しみにしております。」とのこと。

(日刊の新聞ならではの報道で、地元紙の信毎には大いに期待したいと思います。 エトワ)

⑭ 仮説社 向山裕美子さま 柳沢克央さん (3ペ)

チョークアートの試みについて、誕生日レポート完成以後に新しく発生したことの報告。

今の私は落語に出てくる与太郎と同じ状況です。2月17日頃から自分に起こったことごとくうまく説明できないのです。私がチョークアートを研究することを選んだのではなく、チョークアートの研究が私という人間を選んで降ってきたという感じがするのです。…仮説実験授業を行うことも、同じだと思います。私が授業書を選んで授業をするのではなく、授業書が私を選んで授業させるというほうが、仮説実験授業に相応しいという感じがするのです。

(チョークアートの研究、研究過程でいろいろな体験をしたことが記されています。「実践を追試する」ときは、自分や周囲への配慮も必要だということを柳沢さんはいっています。 エトワ)

⑮ 紹介：信毎記事「黒板にチョークアート みんなにも描けるよ」柳沢克央さん (1ペ)

「チョークアート」の信濃毎日新聞の記事の紹介。

柳沢さんの研究した「チョークアート」の記事で、「篠ノ井高校教諭簡単な方法紹介」とあります。

柳沢克央さんが、市販のプロジェクターを使って誰でも簡単に黒板に絵を描ける手法を月刊誌「たのしい授業」（仮説社）4月号で紹介されている。4月の入学式で、作品の前で写真を撮る新入生の親子の写真が掲載されています。

⑯ 紹介：長野市民新聞記事「なぞるだけ チョークで絵」 柳沢克央さん（1ペ）

「チョークアート」の長野市民新聞の記事の紹介。

柳沢さんの研究した「チョークアート」の記事(4/6)で、「篠ノ井高・柳沢教諭が考案 画像投影して容易に」とあります。

この制作手法は、授業での指導ノウハウを紹介する教員向けの雑誌の4月号に紹介された。柳沢さんは「普段は勉強に使われる黒板を束の間、彩ることができるのがチョークアートの魅力。教諭をはじめ、児童や生徒も気軽に楽しんでほしい」と話している。

柳沢さんが3月の篠ノ井高卒業式の際に制作したチョークアートの写真が掲載されています。

⑰ 中和反応と塩の生成を考えるカード試作版 柳沢克央さん（1ペ）

イオンの結合をカードで理解するカードの試作版。

水素イオンやナトリウムイオンなどの陽イオンのカードは三角のへこみがあり、水酸化物イオンや塩化物イオンなどの陰イオンのカードは三角の出っ張りがあります。これらを組み合わせることにより、中和反応や塩について理解を深められるカードです。

⑱ ランキングで知る長野県 坂口富雄さん（4ペ）

長野県の地理や産業について深めるための問題集。

全部で7題あります。「ランキングで知る長野県」（信濃毎日新聞・信毎販売店会）を参考にして問題を作られたとのこと。

参加者みんなで答を出し合いながら楽しみました。

⑲ 紹介：マジックバルーンで科学 渡辺規夫さん（1ペ）

「わくわく科学教室」の山田芳子さんの資料の紹介。

○どうしてふくらむの？！

「マジックバルーン」の袋の成分表示には、粉のクエン酸と水袋の炭酸水とあります。中の水袋を手でつぶすと、クエン酸と炭酸水がまざって化学反応を起こし、二酸化炭素(CO₂)の気体が発生して、袋がふくらむしくみになっています。

しかし、私が調べてみると、水袋はクエン酸水で、粉はベーキングパウダーとクエン酸を混ぜたものと思います。

○発生した気体は、本当に二酸化炭素？

二酸化炭素は、石灰水を白くにごらせます。

○実験 ふくらませたマジックバルーンの先の角をハサミで切りその切り口を、石灰水の入ったコップに入れます。

(渡辺さんが「マジックバルーン」を用意してくれ、実際に実験をしました。みごとに石灰水は白くにごりました。確かに発生している気体は二酸化炭素でした。 エト[㊤]リ)

㊤ 勝木渥先生追悼文 渡辺規夫さん (3 ペ)

渡辺さんの勝木渥先生の追悼文。

勝木先生には在学中より卒業後にいろいろお世話になりました。研究室の教え子ではなく、また、物理学者としての勝木先生を理解しているわけでもない私が追悼文を書くのは借越なことと思いますが、卒業後にご指導いただいたことを回想することで追悼文としたいと思います。

理科オンチ論争 勝木先生と仮説実験授業 ブラウン運動の誤解 明治時代の実験法で大気圧の変化を見る 物理学に基づく環境の理論 最後にお会いしたこと

物理学者としての勝木先生は私の理解のレベルを超えています。教育者、教育研究者としての勝木先生の仕事のすばらしさを強く感じています。その一端を紹介することで、追悼文とさせていただきます。

心よりご冥福をお祈りしています。

(勝木先生とは、ずいぶん前ですが渡辺さんが企画してくれた会合でお話をする機会がありました。

渡辺さんから勝木先生のお話を伺うことがよくありましたが、昔買った『物理が好きになる本』(共立出版)の著者だということに気がついたのはかなり経ってからのことでした。ご冥福をお祈りいたします。 エト[㊤]リ)

㊤ 専門学校生と仮説実験授業と〈しゅぼしゅぼ〉と紙芝居 渡辺規夫さん (12 ペ)

『ころころ^{けんきゅうがみ}研究紙 No7』に掲載されたレポートの紹介。

この『ころころ』はNPO 法人楽知ん研究所の発行している会紙。渡辺さんが勤務している専門学校での授業が紹介されています。仮説実験授業や大道仮説実験、紙芝居など盛りだくさんの授業を行ったようです。〈授業で印象に残ったベスト3の理由〉〈仮説実験授業の意味について生徒さんの考え〉〈授業の評価〉など生徒さんの考えが紹介されています。授業がたのしくためになったという生徒さんの感想が多いです。

渡辺さんは「専門学校でも仮説実験授業は大いに有効である。」とっています。

(専門学校でもやはり仮説実験授業は大歓迎ですね。高校とはまた少し違った生徒さんの受け取りがあるようです。 エトナリ)

㉓ <今月の本紹介17>

増田伸夫さん(40ペ)

【要約】垂直軸と水平軸からイスラームを読み解く

問題の予想を立てながら読む本の紹介。問題が21と質問が12あります。

☆^{こすぎ}小杉 ^{やよし}泰 著 『イスラームとは何か その宗教・社会・文化』

(講談社現代新書) 定価：本体 840 円 (税別)

(1994年7月20日第1刷発行 2016年5月9日第35刷発行)

著者は京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科教授(専門はイスラーム学/中東地域研究) 主著に『現代中東とイスラーム政治』(昭和堂)など

*

これまで読んだきた山我^{やまがてつお}哲雄著『一神教の起源』および『キリスト教入門』などから、一神教のうち、ユダヤ教とキリスト教については少し理解ができたように感じた。そこで次は、いよいよイスラーム教ということになるが、さてどの本を読むべきか。迷った挙げ句、本書を読んでみた。

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">◇マッカが栄えた理由◇ムハンマドの幼少時代◇ムハンマドの家庭生活◇啓示の始まり◇預言者としての召命^{しょうめい}◇天使/預言者/使徒◇マッカ期の布教◇クライシュ族の反応◇移住の決断(マッカ→ヤスリブ)とイスラーム国家◇イスラーム暦◇マディーナ憲章(安全保障協定)◇軍事的対立(多神教 vs イスラーム)とアラビア半島統一◇クルアーンの構成と構造◇イスラームの根本原理◇イスラームの5大預言者◇最終決定版としてのイスラーム◇ヤハウェ=アッラー?◇宗教共同体(唯一神教徒が預言者ごとに共同体を形成)◇垂直軸と水平軸(イスラームの原理構造)◇「五行」と垂直軸/水平軸◇ムハンマドの死と正統カリフの治世◇「第二の啓典」：ハディース◇イスラームと教会組織◇「知識を持つ人」ウラマー(イスラーム神学・法学者)◇クルアーン, ハディース, ウラマー | <ul style="list-style-type: none">◇剣の人, 職の人, 筆の人→ウラマーの国家における役割◇イスラームと法(日常生活全般にかかわる規範)◇ユダヤ教, キリスト教, イスラーム教◇神を求める2つの道(神学と神秘主義)◇ムハンマドの後継者選び(分派の発生原因)◇アリーの殺害◇ウマイヤ朝とシーア派◇カルバラーの悲劇(見捨てられたフサイン 680年)◇シーア派の誕生(悔悟する者たち)◇アッバース革命(ウマイヤ朝→アッバース朝)◇シーア派内の主導権争い(誰をイマームに仰ぐのか)◇「正統派」スンナ派◇スンナ派=「分派に与しないその他大勢」←同胞意識◇指導者原理(垂直軸)と同胞原理(水平軸)◇スンナ派 vs シーア派(不毛な論争)◇現代世界とイスラーム世界の心情(現代を見る視点)◇何故イスラーム側が負けているのか?◇アイデンティティーの分裂◇パレスチナ問題(←ヨーロッパのユダヤ人問題)◇シオニズムが掲げているのは民族的要求(領有権)◇不幸な過剰反応(『悪魔の詩』)◇新しいイスラーム諸制度の模索◇一言で言えば:「イスラームの根本原理は…」◇本書のあらすじ |
|--|--|

本書は、イスラーム（イスラム教）入門書として定評があり、多くの版を重ねてきている。本書で著者は、＜垂直軸と水平軸＞という視点からイスラームを読み解いてくれている。そこで、今回も設問形式で本紹介を試みたい。

*

◇一言で言えば：「イスラームの根本原理は…」

さて、本書の内容をひとことと言えば「イスラームの根本原理は＜アツラーのほかには神なし＞という神と人間との垂直的關係（神への絶対帰依）と、＜ムハンマドは神の使徒なり＞という人間同士の水平的關係（同胞原理）を表しているのであるが、その垂直軸と水平軸とが統一的に交わっているところにイスラームの原理構造がある」ということになるだろうか。

*

＜あとがき＞

本書の内容はかなり豊富で、イスラームについての基礎知識が的確に書かれていると感じた。イスラームの基礎知識に乏しい私にはとても役立つ本であった。ただし、読み手が基礎知識の根底にあるものまできちんと理解できるように書かれているとは思えなかったし、巻末にはやはり「索引」がほしいと感じた。それでも、本書はイスラム教入門書としては優れている。ご一読をお勧めする。（増田）

（増田さんは「本書のあらすじ」で、この本の概要をまとめています。読み返してみると、本書の流れがわかります。ユダヤ教入門に最適な本の一冊のようです。 エンドリ）

⑬ ＜信州イスラーム世界勉強会＞ 講義メモ 増田伸夫さん（4ペ）

松本市での連続講座の講義メモ。

連続講座「イスラームをその土台から眺めなおす」（全8回）

講座1：「イスラームとはいったいどんな宗教なのか」

講師：板垣雄三（東京大学東洋文化研究所名誉教授／イスラム学）

場所：松本市 M ウイング（中央公民館）（入場無料）

- ①日本の中のイスラーム文化
- ②イスラムへの偏見・誤解
- ③イスラームと他宗教
- ④条件付き無神論と万教同根
- ⑤垂直軸（神との関係）と水平軸（同胞との関係）
- ⑥クルーアンと家族・男女平等
- ⑦イスラームの立場

参加予定数を大きく上回る参加者（信毎によると約70人）がつめかけたため、急遽会

場を変更して始まった。板垣さんは高齢（86歳？）にもかかわらず、3時間半ぶっ続けで講義。話し方はゆっくりでしたが、言葉には迫力がありました。板垣さんの話はエンジンがかかるまで時間がかかったので、最後は時間を気にして急ぎ足となり、理解しにくい内容もありましたが、まだこれから7回続くので、その中で理解してもらえばよいと考えておられるのでしょう。

クルアーンは「詠まれるもの」。講座が始まる前と講座の途中で、クルアーンが朗読されている肉声（CD）を流してくれたが、なかなか美しいものであった。講座の内容は期待したほどとは言えなかったが、それなりに得るものがありました。（増田）

次回（第2回）「イスラム教の歴史」5 / 20（土）1:30～

⑭ 物理学史研究から見るアルキメデスとその改作 渡辺規夫さん（5ペ）

渡辺さんが3月に板倉研究室で発表したレポート。

アルキメデスの原理について、中世に改作されたいものを含め解説されています。

（サークルでは時間がなく、渡辺さんに詳しく解説していただく時間がありませんでした。またゆっくり時間をかけて解説していただけたらと思います。とりあえず、科学の古典を読み解くことが大切とのこと。 エンドウ）

あとがき このところ一気に夏めいてきました。今年の夏かかなり暑くなるようです(?)。職場では、一学期の中間テストが終わりホッとしています。これから3年生は進路に向けて、詰めていく時期となり、大変そうです。進路室にも企業や学校からの来客が増えています。体調管理をしっかりと、仕事に集中していこうと思っています。

（エンドウ）

★ 今後の予定 ★
6月24日(土)
7月22日(土)
8月26日(土)